

卷之九

稱光	後花園
後土御門	後相原
後奈良	正親町
後陽成	後水尾
本院	後光明
後西院	仙洞
今上皇帝	

漢明の成祖乃永樂十一年より清光皇帝に康  
 元年中より

和漢書代記九





改正和漢年代紀卷之九



應永

二百  
稱先院

詔ハ躬仁後ノ実仁  
改ハ先帝ノ皇

癸巳

五月五日帝。東苑ニ  
幸シ。毬トウラ。柝ト

射ル。ト。入ル。文武百官。

廿

子。母ハ光範ノ院。子。贈左大  
臣。資國ノ娘。ナリ。位。ハ。在。リ。十

六年。○五月廿八日。常列小栗の  
次郎。誅伐。乃。為。持氏。発向。一。九月二日。ハ。と。誅。す。○。題

四方より乃使。在京乃  
諸。境。あり。ま。り。入。る

上。樂。梁。の。祖。成。乃。明

元禄六年。癸酉。まで。二百八十一年。よ。と。ふ

廿一

十二月十九日帝。即位

甲午

九月。榜。葛。野。國。より

上

麒麟。と。う。ぐ。○。十月。儒者。子。命。て。四。春。五。経。性。理。大。全。と。脩。す

廿二

十一月廿二日。大。名。や。う。名

乙未

九月。四。日。五。経。性。理。大。全。が。り。帝。序。と。作。る

上

年七巳

卷之九

廿三 十月六日上校禪秀。持氏と廢し一  
 才の持仲と云んをす由比の濱合  
 戦。持氏。敗身と七日持氏。三嶋よつる上校伊良。供奉して  
 武列よ下ろ十二月廿五日上野の国よつる

廿四 正月十日持仲。禪秀。雪下まて  
 自害す。十二月朔。爰量。元服  
 子。目と監る

廿五 十月十七日。白經。嗣。逝去。十二  
 月二日。九条乃滿。教。関白とたり  
 胡廣。死す。十二月。武  
 當山の官殿たり

廿六 六月十八日。後花園。生し。同日  
 大明乃使。官。御。きころ  
 元年

廿七 正月十三日。德大寺。公俊。相国。任  
 子。十一月。年。薨て。民。飢。太  
 子。側て。官。乃。粟。と  
 して。よ。さ。ハ。す

峻より一陰陽乃助。定棟と禁獄す

廿八 四月六日。大炊の所。宗氏。逝去。○五  
 月。今官。此。祭。と。改て。十四日。とす  
 四月八日。奉天殿。護身  
 殿。花。蓋。殿。や。く。る

廿九 閏十月十日。前乃。関白。忠嗣。逝去  
 五月。孟。賢。帝。と。毒。と。世  
 進。めん。と。す。何。ら。い。れ  
 て。誅。せ。ら。る

卅 三月十八日。爰量。征夷大將軍。子。保  
 ○四月廿五日。爰持。出家。法名。道  
 詮。顯。山。と。号。す  
 七月。帝。崩。す。八月。太。世

卅一 四月廿日。二。宗。乃。持。基。関白。と。たり  
 ○十月十三日。爰量。冬。歳。よ。任。す  
 子。位。よ。け。く

卅二 二月廿七日。持。平。爰。量。逝去。長  
 得院。と。号。す。○八月十四日。相国  
 寺。廢。く。る  
 五月。帝。病。ら。大。子

卅三 二月廿七日。持。平。爰。量。逝去。長  
 得院。と。号。す。○八月十四日。相国  
 寺。廢。く。る  
 五月。帝。病。ら。大。子  
 卅四 仁宗。祖。乃。子。なり  
 卅五 卅六 卅七 卅八 卅九 卅十

廿三 六月廿六日 持氏。武田右馬助とつる。酉午  
八月 武田。降参す。五 才 眞宗 諱 八 贍 基 仁 宣  
宗乃子なり在徳

廿四 十月 赤松満祐 同く 持貞。取領 丁未 十月 皇子 祚 鎮 じ ころ  
と争ひ 持貞。自害す 持年家。満祐 と ころす

正 正月 十八日 持 逝去。勝定 院 戊申 二月 祚 鎮 と 太子 とす 三  
長 号く 〇 五月 廿六日 鷹司 冬家 逝

去 〇 六月 十九日 徳大寺 公俊 逝去 〇 七月 廿日 帝。崩 逝。壽  
廿八 同 廿八日 彦仁 親王 祚 と ころす

永 百 後花園 諱 彦仁 宗光 院 己酉 四月 署 曹 掾 と 泰 和 の 四  
乃子 乃母 八敷 政 門 院 と 贈

乃子 乃母 八敷 政 門 院 と 贈 習 じ 〇 六月 年 崇 新 の 後 法 名  
左大臣 経 有 乃 娘 乃 位 在 じ 〇 六月 年 崇 新 の 後 法 名

二 十月 受 教。從 一位 下 叙す 〇 十月 十八 庚戌 五月 兩 朝 実 録 乃 〇 五月 五  
日 大 々 や う 云

三 三月 廿四日 後 小松 乃 院 飾 と 落 辛 亥 十二月 金 幼 孜。死す 六  
一 〇 法 乃 諱 八 素 行 智

四 七月 廿五日 持 基。樞 臣 任 下 受 教 壬 子 正月 朔。日 志 〇 十月 七  
月 大 臣 任 下 〇 八月 十三日 一条 兼 兼 南 蛮。西 域 の 諸 国 〇  
良。持 政 と なる 廿八日 受 教。左 大 臣 〇 貢 と ころす

五 正月 帝。御 元 服 〇 三月 持 基。薨 癸 丑 自 〇 十月 廿日 後 小松 乃 院。崩 逝

六 二月 十四日 因幡 守 乃 方 親 乃 甲 寅 宣 徳 通 室 の 錢 と ころす 九

年 氏 記

年 氏 記

七	乙卯	正月三日帝崩す太子即位す	十
八	丙辰	才英宗 諱 祚 鎮 宣 宗 此子なり	統
九	丁巳	在位十四年	二
十	戊午	宣宗 聖帝の突つ録なり	三
十一	己未	春わらこよ京よ九門と作り	四
十二	庚申	正月南京に黃福死す	五
十三	辛酉	七月楊榮死す	六
十四	壬戌	征夷大將軍を任す	七
十五	癸亥	四月奉天殿に雷にふる	八
十六	甲子	三月楊士奇死す	九
十七	乙丑	三月高輅翰林院	十

七

二月廿七日多武乃卒此大織冠の

壬戌

正月三日帝崩す太子即位す

八

二月廿七日多武乃卒此大織冠の

丙辰

才英宗 諱 祚 鎮 宣 宗 此子なり

九

四月かまくら騷動○十月廿二日

丁巳

在位十四年

十

八月廿三日雅世。新統古今集と

戊午

宣宗 聖帝の突つ録なり

十一

二月持氏。自害す嫡子久報

己未

春わらこよ京よ九門と作り

十二

七月上秋清方。持朝。持房。結城

庚申

正月南京に黃福死す

十三

四月十六日氏朝。討死す○六月廿四

辛酉

七月楊榮死す

して長櫓とりびく

十四

二月廿七日多武乃卒此大織冠の

壬戌

征夷大將軍を任す

十五

七月廿一日多勝。逝去。慶雲院と

癸亥

四月奉天殿に雷にふる

十六

三月京中よまめわがきつる○四

甲子

三月楊士奇死す○六

十七

三月京中よまめわがきつる○四

甲子

三月楊士奇死す○六

十八

三月京中よまめわがきつる○四

甲子

三月楊士奇死す○六

十九

三月京中よまめわがきつる○四

甲子

三月楊士奇死す○六

二十

三月京中よまめわがきつる○四

甲子

三月楊士奇死す○六

乃房嗣。自とたり。○持氏の子成氏。赦れて鎌倉の侍取となり

撰とる。○五倫昏六十ニ卷と作りてなる

三 正月一条の兼良。相国に任ず

丙寅 七月楊溥死す

十一

四 四月二日南禅寺をくろ。○六月一条

丁卯

十二

乃兼良。関白となり。○十一月畠山が家人。山満院乃遷俗。此官より。○同月帝北。貞成親王。道欽。大上天皇。尊号をきてまのり。伏見殿を号す

五 八月赤松左馬の助を誅す

戊辰 四月鄧茂七。謀反し。て國王と称す

十三

室 四月十六日。義成。元服し。廿九日征夷大将軍に任ず

己巳 二月鄧茂七。矢中りて死す

十四

二 四糸河原の大橋をうとめ

庚午 才景帝。宣宗は子の泰

景泰

英宗。北虜のりことなる。依て。在位七年。○八月二日。英宗。北虜より。りて。南京に居る

三 八月。義成。太明に。任ず

辛未

二

亨 十月。久我の清通。相国に任ず。○舟後乃海より。頭を。殺す。縁悉のあり

壬申

三

二 三月。義成。従一位に叙す。○四月。二条の持通。関白となり。○六月。義成。名を。改む。○九月。久我の清通。逝去

癸酉 七月。北虜の也先。その君を殺し。貢とさぐ

四

三 七月。鷹司の房平。関白となり。○成氏。上。殺す。上。房頭。鎌倉を。成氏。敗す

甲戌 四月。隆福寺を建て。な。元史を修む

五

康 六月。二条の持通。関白となり

乙亥

六

正 〇八月。義成。右大将となり。○十二月。晦日。夜。地を

年七

五

二 八月太上天皇道欽崩す壽半  
五後崇光院とすりかむ  
癸子 崩天府河内府。飢饉  
す周璣命てまふす

三 四月洞院の実犯。出家。同廿八日  
尊氏乃百年忌。大政大臣。贈。○  
英宗 正月石享。徐天  
祿 有貞。宋英宗。燬

四 五月十日。猿沢乃池水。赤して血の  
如し。○七月。吉田の社。鳴うら  
帝と廢して。輝。垂す  
同十九日。崩す

二 七月。野能持。攝。國。下。後。改。心  
大臣。任す。○八月。赤松。少。郎。亦。吉。野  
入。神。坐。と。奪。て。内。裡。よ。さ。く。是  
命て大明一統志作

三 六月廿日。昭。二。つ。つ。び。い。づ。つ  
一。心

寛 正月朔。月。三。つ。い。だ。る。○九月。島。山。長  
庚辰 卯  
二

政 就。河。内。乃。若。江。乃。城。は。籠。る。島。山。政。長。傳。と。奉。て。若。江。と。攻。落。す

二 十月。義。政。の。才。政。知。度。東。下。る。○辛巳  
正月。大。明。一。統。志。九。十。卷。五  
作。り。て。な。り

三 四月。義。就。金。胎。寺。乃。城。あ。る。○八  
壬午 呂。原。死。す。文。懿。と。と  
く。ら。か。む

四 四月。二。条。乃。持。通。ま。く。殿。自。と。な。り  
癸未 二。月。晦。の。夜。空。よ。轟。か。り

五 四月。觀。世。音。阿。弥。其。子。又。三。郎。亂  
河。原。を。勸。進。能。と。催。す。義。政。河  
内。○七月。十九。日。位。と。成。仁。親。王。の。ゆ。り。ま。ふ。○八月。義。政。乃。才。義

六 百 後。土。御。門。子。母。八。嘉。承。所。院。と  
乙酉 才 憲。宗 帝。ハ。見。濟。英。成  
宗。乃。子。乃。り  
化

丙 丙子 癸 九 在位廿三年

廿六年○十月長祿元服○同月長尚ひまろ○十二月廿八日即位○元祿六年まで二百廿九年よとよ

正 七月廿九日長材ひまろ後よ名長  
植と改む○十月廿五日島山長就  
免えりて上洛す○十二月廿九日地ちん

應 島山長就政長と追討の院宣と  
奉所靈乃森と合戦政長敷  
地す○二月主上皇空所乃亭  
乃實録ナリ

仁 五月細川勝元長政の旗と給り山名宗全とつ  
り合戦暫も止す○六月八日京中乗ぎく焼る○八月廿三日  
主上皇幸す空所乃亭○九月廿日主上皇節と表法法諱白満智

二 七月廿日大内洪水○九月十日禁里戊子九月禁里いづ  
いづはがと一丈わまり

二 八月二条の政嗣関白とつら○十月庚寅七月三日孝宗皇帝  
廿七日先帝崩御○享壽五十二  
ひまろ

三 五月長政越前と朝倉孝景よ  
賜る○上秋憲顯古河乃城とせあ  
落す成氏千葉と遷る○十月  
朔禁里いづ

四 島山長就勝元よ降参す  
壬辰

五 三月十九日山名宗全死す○五月  
十一日勝元死す○冬長尚元服  
彭時よ命て宋元綱  
目と作しむ

六 春長尚從四位下よ叙す○  
九月長政書と朝鮮よはらす  
甲午十一月郎玉乃帝号と十  
くへと

七 春京師大に飢饉す  
粟と百万斛と買ひ  
と減してらる賞と斛  
よ満る者よあさへす

八 春京師大に飢饉す  
粟と百万斛と買ひ  
と減してらる賞と斛  
よ満る者よあさへす

九 春京師大に飢饉す  
粟と百万斛と買ひ  
と減してらる賞と斛  
よ満る者よあさへす

十 春京師大に飢饉す  
粟と百万斛と買ひ  
と減してらる賞と斛  
よ満る者よあさへす



七	八月六日 梶原景時が波多揚に敗れ、波多揚に討たれ、死す。○九月 義尚、冬を設け、任す。	乙未	景時、死す。	十一
八	五月九日 藤原の政基、奥白土に討たれ、死す。○六月 丙申、五月十五日 日野の勝光、逝去。	丙申		十二
九	七月 北月、紅の雲あり、はもろ。○丁酉、正月 統編、宋元通鑑、縦目なり。	丁酉	正月 統編、宋元通鑑、縦目なり。	十三
十	足利成氏と上杉顯定と和睦。○戊戌、九月 成氏、古河の城より、顯定に、野の平井に居す。	戊戌	九月 程信、死す。	十四
十一	二月 晦日、近衛の政家、奥白土に討たれ、死す。	己亥	九月 程信、死す。	十五
十二	正月 七日、大凡、飛田なり。○七月 二条、厚子、山東の民、麤と、つ、振、す、水、と、入、れ、お、濁、く、木、と、之、れ、が、声、い、つ、怪、て、破、る、識、者、の、し、室、なり。○ま、く、教、里、と、て、ら、す、と、い、ふ。	辛丑	山東の民、麤と、つ、振、す、水、と、入、れ、お、濁、く、木、と、之、れ、が、声、い、つ、怪、て、破、る、識、者、の、し、室、なり。○ま、く、教、里、と、て、ら、す、と、い、ふ。	十六

十三	四月 一、糸の禪、關、兼、良、逝去。○二、休、延、化。○七月 久我の通博、相國に任ぜ。	辛丑	宿禰の民の妻、縣の石、の、側、裂、て、男、子、と、う、む。	十七
十四	三月 石清水の社、鳴ら、く。○五月 十、二、日、星、月、乃、中、へ、入、る。○十月 久我の通博、逝去。	壬寅		十八
十五	二月 鷹司の政平、奥白土に討たれ、死す。○三月、從、一、位、に、叙、す。	癸卯	十二月 いでりす。	十九
十六	三月 藤原の政家、攝關に任ぜ。○六月、乙、己、政、政、出、家。法名、道、禎。後、道、慶、と、改、じ。○八月 義尚、右、大、將、と、な、る。○成、氏、和、睦、と、い、ふ、ゆ、り、す。	甲辰	大鎮、國、永、昌、寺、と、つ、つ、る。	廿
十七	三月 藤原の政家、攝關に任ぜ。○六月、乙、己、政、政、出、家。法名、道、禎。後、道、慶、と、改、じ。○八月 義尚、右、大、將、と、な、る。○成、氏、和、睦、と、い、ふ、ゆ、り、す。	乙己	正月 朔、星、隕、て、赤、布、り。○四月 泰山、方、丈、ひ、う、ぐ。	廿一
十八	十一月 山内の上杉、顯、定、謀、り、て、扇、谷、の、上、杉、定、政、と、其、家、老、大、田、乃、道、灌、と、と、り、あ、す。	丙午	十二月 高、輅、死、す。文、教、と、い、ふ、ら、る、と、い、ふ。	廿二

年代記 卷之七

長	二月九条の政忠、自任する。八月丁未、八月廿二日、帝が崩す。九月廿三日、大炊の津内信量、逝去。九月、高頼、佐々木高頼と追伐のあはれ、江州より	八月廿二日、帝が崩す。九月廿三日、大炊の津内信量、逝去。九月、高頼、佐々木高頼と追伐のあはれ、江州より	八月廿二日、帝が崩す。九月廿三日、大炊の津内信量、逝去。九月、高頼、佐々木高頼と追伐のあはれ、江州より
二	七月廿三日、自任政忠、逝去。八月、廿八日、一条の冬良、自任する。九月、近衛の政家、相国に任ず。同日、高頼、内大臣に任ず。各と封爵とあはれむ	戊申 才 十 孝宗 宗此子なり在 治	位十八年
延	三月廿日、北国に泥の雨あり。同廿日、巳酉、五月、李乗、死す。六月、美濃、逝去。常徳院と号す。美濃と和睦し、四月、美濃、美濃より上洛して出家す。子の美村、美濃の家をつぐ	巳酉 五月、李乗、死す	二
二	正月七日、美政、逝去。慈照院と号す。庚戌、三月廿日、北野の社あり。七月、美村、征夷大將軍に任ず	庚戌 征夷大將軍に任ず	三

三	正月七日、美視、逝去。太智院と号す。辛亥、九月十四日、武宗、いじまる。四月、美政のとき、改知、死す	辛亥 九月十四日、武宗、いじまる	四
明	疫病とやろ。八月、美村、佐々木高頼と攻る。高頼、甲賀山よりくる	三月、皇子、厚姫と太 子とす	五
二	正月、冬良、相国に任ず。三月、癸丑、近衛の尚通、自任する。四月、美村、畠山美豊と討んとめ、河内よりひし生捕る。六月、容よ出て、周防よりゆき、大内館より	三月、癸丑	六
三	五月七日、地志へ。十月、美通、各と美高とめ、十二月、征夷大將軍に任ず。伊勢新九郎、小田原の城と討ち、出家して北条早雲と号す	甲寅	七
四	六月廿日、新菟玖波集とさぐ。八月十五日、かまくら地志へ	乙卯 二月、丘濬、死す。文徳とくありあす	八
五	四月廿五日、赤松政則、死す。十、丙辰	丙辰	九

年次記

卷之三

九

二月関白尚通。左大臣に任じ。今出川の公。右大臣に任ず。

六月二条の筒基。関白に任ず。○七丁巳 春。儒者に命じて大眼十

月一条の冬。良。相国に任ず。○九 會典と作りし。○五月

月古河の成氏。逝去。乾亨院と 凡そききあり天あり

号す。○十月関白尚基。逝去。一 地とす

条の冬。良ま。関白に任ず。

七 大織冠の像。やがしとす。○六月 卒 六月熊出て城よる高土

十日諸国。大地とす。 世則。く。熊の字

火と能す。火災の兆あり。果して宮殿をく。

八 三月十一日越府。大わられり。 巳未

九 九月廿八日帝。崩御。壽五十 庚申

九 〇十月廿五日勝仁親王。祚と 雷のどく

〇十一月十一日後土御門乃院と。泉涌寺とす。

文 五百 後相原 子。母。准后朝子と 正月大地とす。そのひびき十四

〇権入。細言。長賢の娘なり。位に在り。廿六年。○四月廿日

電。か。大。粟。比。こ。一。○六月九条。比。尚。経。関。白。に。任。ず。○前。の。将

親。美。村。名。と。美。尹。に。改。じ。○元。祿。六。年。ま。百。九。十。三。年。ま。り

二 七月。美。高。冬。議。に。任。じ。左。中。將。 壬戌 十二月。何。喬。新。死。す 十五

と。無。名。と。美。澄。と。わ。こ。ひ

三 正月。美。澄。從。三。位。に。叙。す。○夏。ひ 癸亥 二月。儒。者。に。命。じて。歴

で。り。す 代。通。鑑。集。纂。と。作。し

秘 天下。飢。饉。す。○十月。山。門。乃。叔。顯 甲子 吳。寬。死。す 十七

正 定。と。尉。が。谷。乃。上。叔。朝。良。と。武。列。河。越。と。合。戦

二 六月。十九日。近。衛。乃。政。家。薨。る。○乙。丑 五月。七日。帝。崩。御。す。十 十八

北。条。早。雲。其。子。氏。繼。武。列。と 八日。太子。位。に。任。ず

年 代 記

出張す是よりて上校朝長。顕定。和睦一共。北条とせむ

三 二月西三条の実隆。門大臣に任ず。西暦十  
一 武宗 諱ハ厚姫存 宗此子なり在 德  
○七月禁ぼいざらる。○九月春 位十六年○三月  
日山の木。七千本ある

四 六月廿三日細川政元が家人。香西  
乃又亡。政元と客す。○七月政元 八月十日世宗ひまろ○  
ガ養子。澄元。阿波より上洛 黄河すあり○張元  
八月又亡とらり殺す 禎。死と

五 正月前乃將軍。大内乃親 戊辰十二月恭愍帝。死す  
真。上洛。四月。邊江は落ゆ。五月三好希重。細川。  
佐々木。大内乃親。討負て自害す。是。洛  
よ。七月。征夷大將軍に任ず

六 十月徳大寺実淳。排外に任ず。○巳 五月孝宗乃実録と  
同廿日春日乃社。遷宮 作りてなる

七 二月十四日京勢。近江よひふ。○同庚午 許進。死す  
廿八日京勢。敗す。○同月上校。顕定が家人。長尾為景。越  
後より謀及す。顕定に仕たり。討負て自害す。○八月七  
日大地と。同廿七日。遠州乃今切。げんいで海となる

八 八月十四日。藤乃將軍。交澄。薨る。辛未  
法住院を号す。○細川政賢。京を攻んとす。八月十六日。是。平  
都と落。廿四日。舟屋山合戦。政賢。討死す。九月朔。是。平。既洛

九 六月九日。大地と。○十一月十九日。伊。重。正月。黄河と。ひと  
勢入。神官乃。度。り。や。く。ろ。九十里

十 三月。是。平。近江よひ。ひ。五月。洛よ。癸酉  
ろ。○十月。近衛の。高。通。ま。る。白。と。なり。○是。平。各。と。長。植。を。改

十一 三月一、条乃冬良、薨死。○八月、近衛の尚通、相国に任じ、鷹司の無輔、関白となり。

十二 四月十一日、電、大梅、崩。○同、西子、四月、安南、国に王、黎、暹、その臣、陳、暲、を弑す。國人、其、甥、秋、米、讓、を立て、国に事と治す。

十三 四月十一日、電、大梅、崩。○同、西子、四月、安南、国に王、黎、暹、その臣、陳、暲、を弑す。國人、其、甥、秋、米、讓、を立て、国に事と治す。

十四 七月十三日、暴雨、洪水。○同、十月、鷹司、乃、政、平、薨死。

十五 三月、二、条、の、尹、房、関、白、となり。○四月、成、寅、月、敷、山、根、本、中、堂、の、供、養。○五月、花、山、乃、院、政、長、相、国。

十六 八月、北、条、早、雲、死す。

十七 二月、細、川、澄、元、を、高、国、と、り、高、国、近、江、に、落、ゆ、く。五月、高、国、上、ら、く、と、六月、澄、元、死す。

十八 三月、廿、三、日、帝、即、位。○同、廿、五、日、春、分、至。植、淡、路、に、蟄、居、す。嶋、乃、公、方、と、子。○六月、多、澄、乃、子、多、晴、播、磨、に、上、洛。十一月、征、夷、大、将、軍、に、任、ず。細、川、高、国、出、家。一、常、植、に、子。○同、廿、二、日、先、物、ら、ぶ。

十九 二月、多、晴、冬、議、に、任、じ、左、中、将、となり。

二十 二月、廿、三、日、帝、即、位。○同、廿、五、日、春、分、至。植、淡、路、に、蟄、居、す。嶋、乃、公、方、と、子。○六月、多、澄、乃、子、多、晴、播、磨、に、上、洛。十一月、征、夷、大、将、軍、に、任、ず。細、川、高、国、出、家。一、常、植、に、子。○同、廿、二、日、先、物、ら、ぶ。

十一	三月一、条乃冬良、薨死。○八月、近衛の尚通、相国に任じ、鷹司の無輔、関白となり。	甲戌	正月十六日、乾清宮、や、九、く、る。	九
十二	四月十一日、電、大梅、崩。○同、西子、四月、安南、国に王、黎、暹、その臣、陳、暲、を弑す。國人、其、甥、秋、米、讓、を立て、国に事と治す。	乙亥		十
十三	四月十一日、電、大梅、崩。○同、西子、四月、安南、国に王、黎、暹、その臣、陳、暲、を弑す。國人、其、甥、秋、米、讓、を立て、国に事と治す。			十一
十四	七月十三日、暴雨、洪水。○同、十月、鷹司、乃、政、平、薨死。	丁丑	九月廿七日、米、電、方、夜、一、つ、り、つ、る。	十二
十五	三月、二、条、の、尹、房、関、白、となり。○四月、成、寅、月、敷、山、根、本、中、堂、の、供、養。○五月、花、山、乃、院、政、長、相、国。	戊寅		十三
十六	八月、北、条、早、雲、死す。	己卯	三月、五、つ、り、て、昼、くら、官、乃、海、水、溢、橋、乃、上、四、尺、積、水、乃、池、に、漁、一、舟、入、り、て、に、ぼ、る。	十四
十七	二月、細、川、澄、元、を、高、国、と、り、高、国、近、江、に、落、ゆ、く。五月、高、国、上、ら、く、と、六月、澄、元、死す。	庚辰	八月、帝、小、舟、の、り、積、水、乃、池、に、漁、一、舟、入、り、て、に、ぼ、る。	十五
十八	三月、廿、三、日、帝、即、位。○同、廿、五、日、春、分、至。植、淡、路、に、蟄、居、す。嶋、乃、公、方、と、子。○六月、多、澄、乃、子、多、晴、播、磨、に、上、洛。十一月、征、夷、大、将、軍、に、任、ず。細、川、高、国、出、家。一、常、植、に、子。○同、廿、二、日、先、物、ら、ぶ。	辛巳	三月、十、日、帝、崩、す。四、十六、日、厚、熈、位、に、上、り、く。	十六
十九	二月、多、晴、冬、議、に、任、じ、左、中、将、となり。	壬午		十七
二十	二月、廿、三、日、帝、即、位。○同、廿、五、日、春、分、至。植、淡、路、に、蟄、居、す。嶋、乃、公、方、と、子。○六月、多、澄、乃、子、多、晴、播、磨、に、上、洛。十一月、征、夷、大、将、軍、に、任、ず。細、川、高、国、出、家。一、常、植、に、子。○同、廿、二、日、先、物、ら、ぶ。	癸未		十八

二世宗 諱、厚、熈、英、嘉、宗、乃、子、なり。在位、四、十、五、年。

三	四月葬乃將親及植。薨る	癸未	二
四		甲申	三
五	四月近衛の植家。薨る	乙酉	四
六	二月十六日石清水八幡の遷宮。夏四月廿六日泉涌寺に葬る	丙戌	五
七	二月廿九日知仁親王を祚と毀る	丁亥	六
八	六月後奈良 子母豊泰門院藤子と子贈左大臣教房を 娘むら位よ在し元年○二月三好海雲阿波より京に攻 入る桂川合戦細川高国討負る越前の朝倉孝景高国 討負る海雲と討やぶる○元禄六年まで百六十七年よまぶ 八月自植家左大臣に任ず○戊子五月ひでりす 九月三好京と攻る及晴近江にたりゆく	戊子	七

二 及晴江州橋本に逗留す 己丑 春ひでりす帝の八

三 正月及晴大納言に任ず從三位 庚寅 正月教一乃歳と天下に九

四 六月三好海雲細川晴元尼崎 辛卯 五月ひでりす帝三つ十

五月高国とたり高国自害す 壬辰 五月ひでりす帝三つ十

即赤乃嶋村の集敵と二人狭き海に入て死す其靈化して解虫となり是と嶋村解虫といふ○同廿九日禁御いざし

天 及晴浴より晴元堺より海 壬辰

二 二月九条の植通。同日となり○十月 癸巳

三 正月梅乃星打れて海陸にたつる○十二月梅の宮修る

月鏡の宮やくる○二月二日平乃信長生る○春より夏まで疫  
病もやり死する者たはへり○十一月二条北尹房も、奥白とあり

八月三条乃実香、相国よ任す

二月廿六日帝即位、大内乃隆、丙申十二月聖濟殿と作る

其の料とさくぐ○三月十日源の茂藤、生る○七月山徒、浴よ入て

日蓮宗と歌うつ、依中、過半、焼る○土月近衛植家も、奥白とあり

平比勢吉むまる○十月三音源の丁酉正月穆宗むまる

茂昭むまる○十二月奥白植家、相国よ任す

七月北条氏康、武列河越乃城、戊戌

下と、兩上校と夜討す、朝定ハ討死、憲政ハ上野よ匿る

八月三好が余黨にらる、茂晴、ハ巳亥、元子と太子と、お二、八

瀬よも、ひく○八月土佐系房家、乃子と裕王と、才

薨る、嫡子、房通、内府よ任す、三の子と景王とす

安藝乃毛利元就、出雲の尼子、庚子、頼して、仁勢、官といとあり十九

晴久よ反て、大内乃隆、よ、晴久、毛利と攻かす、すして、くる

茂晴、坂本よ出陣す○八月十一日、大、辛丑、

凡、殿門、破る○十二月大内乃隆、從三位よ叙す

三月鷹司乃忠冬、奥白とかり○茂、壬寅、七月帝、曹妃が宮よ廿一

隆、尼子と攻、五月討負てくる○八、頼して、保る、官の、楊

月、今川、茂元、織田信秀とた、英、帝と、經人、とす、あり

元、敗、年、す○十二月廿六日、源の家、つれて、誅、せらる

康、春、河、の、悪、崎、よ、し、む、ま、れ、あ、ふ

正月八日月乃光、晨まで、の、ころ、○元、癸卯、七月ひでりす、帝、と、つ、廿

ら、祈、る、大、雨、あり

二月西三条乃公條、出家○七月、甲辰、朝、鮮、の、宋、靖、王、仁、宗、廿

九日洪水、陸地と舟よ、ゆ、く、乃、元年

琉球人系府

中田<sup>子</sup>乃酒<sup>子</sup>琉球<sup>子</sup>不<sup>子</sup>致

乃乃乃乃乃

乃乃乃乃



十四 六月一条の房通。関白となり

乙巳

廿四

十五 八月廿三日。百の懸。よ黄。ある雲。四。丙午

●朝鮮の恭憲王崩

廿五

見れ人の面。金比。〇十二月廿日

宗比元年

義藤。征夷大將軍。任す

十六 二月。義隆。大明。貢。遣す。〇四月。細。丁未

廿六

川。晴元。三好。三好。京。攻。入。義隆。義藤。北。白。川。一。菴。乃。佐。々。木

定頼。北。白。川。と。攻。る。義隆。義藤。坂。本。よ。ゆ。晴元。定頼。衆。と。謝

して。免。さ。か。つ。つ。〇。吉田。寺。真。如。堂。を。く。る

十七 六月。義隆。義藤。坂。洛。〇。十二月。一条。戊申。日本。乃。畠。山。義。忠。昌。虎

廿七

の。晴。良。関。白。に。な。り

首座。と。朝鮮。よ。は。く。す

十八 三月。三好。長。慶。と。同。宗。三。合。戦。一。己。酉。三月。太子。死。す

廿八

宗。三。討。死。す。晴元。将。軍。父。子。と。伴。ひ。坂。本。よ。落。ゆ。〇。尾。張

の。織。田。信。長。が。死。す。子。乃。信。長。家。督。と。な。り

十九 五月。四。日。前。の。将。軍。義。隆。死。す。〇。松。院。と。号。す。〇。十月。十九。日。三。好。上。ら。く。東。山。と。悉。く。や。く

廿九

廿 七月。晴元。が。即。從。相。国。寺。に。籠。り。身。委

廿一 三好。一。奇。て。焼。〇。八月。義隆。が。家。老。尾。張。守。謀。及。す。九。月

卅

朔。義隆。自。害。す。尾。張。守。豊。後。の。大。友。宗。麟。が。才。義。長。よ。義

隆。が。跡。と。つ。め。我。身。の。出。家。一。全。善。の。子。〇。北。条。氏。康。上。野。の

平。井。乃。城。と。せ。め。た。す。上。叔。憲。政。越。後。よ。ゆ

廿二 正月。義藤。洛。よ。久。〇。二月。細。川。氏。季

昭。本。乃。賊。朝。鮮。と。か。す

卅一

經。同。藤。賢。三。好。上。ら。く

め。人。民。と。こ。ろ。を

廿三 正月。一条。乃。兼。冬。郎。白。に。な。り

卅二

廿四 二月。頼。自。兼。冬。死。す。〇。義藤。谷

卅三

と。義。輝。と。改。む。〇。三月。近。衛。乃。晴。嗣。郎。白。に。な。り。名。と。前。嗣

と。の。こ。ひ。〇。五月。一。乃。白。山。も。急。い。だ。り

廿五

弘 十月毛利元就。陶全善と攻る。全 乙卯 五月日本乃賊。嘉具と並  
 作 善。長。自害す。元就。宇喜田 乙卯 七月まて。南京と  
 直家と和睦し。尼子とせむ。

二 正月廿三日禁けし。東よりけり。○二酉辰 四月日本の賊。温州より並  
 月十三日大地より。

三 七月廿日大地より。○八月廿六日大凡 丁巳 四月火乃光。駿より起り並  
 ○九月五日帝。崩御。壽六十二 奉天殿。花蓋殿。謹  
 ○十一月廿七日方仁親王。祚と踐 身殿。午。左右乃  
 とまふ 廊。益くをけり

祿 百 正親町 誦。方仁先帝の皇 戊午 正月先祿寺をくろ。○此  
 七 子。母ハ栄子といふ。冬 五月大むでりす

議賢房の娘なり。位ニ在。廿九年。○九月。茂輝。晴元。將 年山陣。松永。彈正。目川。合戦。○十一月。茂輝。三好

二 長尾景虎。上洛し。茂輝と闘して。己未 朝鮮より。長城と此八  
 輝。此字と賜り。名と輝虎と改む。

三 正月廿七日。即位。毛利元就。其料 庚申 正月寧夏。嘉具。湖外。此九  
 五月。今川。茂元。相狭間。信 地。す。○七月。茂列。此  
 長と。討死す。○家康公。世崎。乃。城。より。あふ

四 三月。松永。彈正。三好。長。と。毒害。辛酉 二月。雨。や。す。○四月。一。甲  
 す。○九月。十日。輝。虎。と。甲。斐。乃。信。玄 考。官。天。火。を。や。ら

五 毛利元就。大友宗麟と和睦す。○壬戌 十一月。冬。至。乃。日。顯。隆。此。四一  
 園。自。前。嗣。名。と。前。久。と。改。む 松。乃。木。耳。露。方。

六 四月。二日。東。寺。乃。塔。雷。火。を。燒。る。癸亥 松。乃。木。耳。露。方。

○尼子晴久。元就より降参す。○十二月三條乃稱名院。薨死す

七 信長。岐阜乃城より移る。○丹波より甲子

七才乃女子とらじ。○七月四日三好長慶。死す

八 五月十九日三好義継。松永久通。謀反。乙丑 正月帝。崩す。二月平愈。四

一 義輝。自害す。光源院と号す。○五月胡大頭。方秀全

六月七日左大臣と贈る。○義料乃。尺よとけらる

精。覚慶。佐々木承禎と特。還俗し。名と義昭とす

九 十月義禎が子。義彌。三好と河通。丙寅 十月帝。崩す。王金が長。五

一 義昭と弑さん。とす。義昭。越前。生乃菜と服して。弥と

よゆ。一 国十月位と傳へ。十月

十 八月廿四日住吉乃社。鳴らぐ。○丁卯 崩す。三 穆宗。宗乃子乃の。慶

十月十日大仏殿。兵火にて焼る

三 穆宗

宗乃子乃の慶

十一 二月義榮。征夷大將軍に任ず。○五戊辰

月上。叔謙信。北条氏康と和睦。○七月義昭。岐阜よりゆく。○九月義

禎。父子。没落。○同月義榮。薨る。○同廿八月義昭。信長。上洛し。十

月。杉元よりじり。三好と攻平らぐ。松永。降参す。同八月義昭

征夷大將軍に任ず。○十月二条乃晴長より。自白となる。○十一月

今川氏真。没落。信玄。駿河より。北条氏政とたふ

十二 正月信長。二条乃河原と作る。○同己巳

五月六条合戦。○十一月信長。丹波と修理す

元 四月信長。金ヶ崎乃城と攻落す。○庚午

六月信長。柿川より。義景。浅井と。つら。家康。加勢。○同月毛

稚元就。死す。○八月三好山城守。同日向守。蜂起す。○信長。敵

山とせむ。○十月北条氏康。死す

三 頭。二つ乃。龜いぼる。○九月十二日。殿。卒未

山山王。兵火しそむる

三 七月信忠。江引し出張し。景景淺

井と討破る。○十二月廿二日三方原合戦

五月帝。崩す。六月志。孔。位よけり。○張居正。帝鑑圖説と進る

天 四月十二日信長。死す。○七月。免服信。長と合戦。免服。討しけ河内。出

井長政。自害し。朝倉景景。害せらる。○九月信長。總江の城とせめ

神宗。宗の子なり。在位四十七年

正 二月信長。東大寺の蘭斎待とる。甲戌

二 三月信長。信忠。長嶋。一向宗の一族とせむ

三 五月勝頼。長篠の城と圍と家。乙亥

四 二月信長。安土より移り信忠。岐阜

五 二月信忠。信雄。信孝。雜賀のつ

六 三月上旬謙信。死す。○四月毛利輝

七 四月七日源乃秀忠。生し。○五月

元。秀吉と對陣。○十月荒木村重。ひり

七 四月七日源乃秀忠。生し。○五月

浄土宗。日蓮宗。安土より宗論。○十月伊丹の城にうつる

八 正月秀吉。三木の城を攻め落す。○庚辰

春より夏まで夜務す。○六月十五日星。月を貫く。○七月大坂の門跡。勅よりして城を信長に渡し渡す

九 正月秀吉。姫路の城を攻め落す。○遠年已

羽高天神の城にうつる。勝頼が年勞。おろしく死す。○四月二条の門跡。奥自にうつる。○十月秀吉。同幡の鳥取の城を攻め落す

九

十 二月近衛の頼久。相国に任ず。○三年六月朔。日をく。三日禁

月勝頼。信勝。天目山にて自害す。○六月朔。信長。上洛。二日明智光秀。謀反す。信長。本能寺にて自害。信忠。二条の河原にて自害す。明智。京中乃地子と免す。十二日秀吉。明智とつら破る。光秀。伏見より洛ゆき野伏を殺す。○家康公。北条

十

氏直と合戦。氏直。敗軍す

十一 四月秀吉。志津を戦え。佐又面盛。癸未八月帝。三つら。武蔵と

政と生らる。○柴田勝家。自害す。○

五月

信秀。うつら。○五月秀吉。洛よりへる。滝川一益。降参す。秀吉。冬。畿より任ず。大坂の城より川。○琉球。とつきとさくぐ

十二 三月秀吉。森。池田とて。信雄と申す

攻る。信雄。家康より救とらふ。家康。小牧山より出陣。秀吉。樂田より陣す。四月九日。長久手合戦。秀吉。敗軍。一池田。森。討死す

五月秀吉。美濃より退く。七月蟹江合戦。滝川一益。没落す。秀吉。敗退。家康。濱松よりうつる。十月。信雄。秀吉と和らぐ

十三 三月廿二日。根來寺。かろ。○長曾。し酉。四月ひでりす。帝。女よ

我部元親。降参す。○七月秀吉

行てい。のる

園自より任ず。○十月廿九日。地志

十三

十四 二月家康。冬。護從三位に任じ。丙戌。建昌の民。山に入て解す。四月。五月。十月。秀吉の妹。家康の嫁。七月。廿四日。皇子。誠仁。薨す。八月。陽光院と諡す。太上天皇の号を贈る。九月。廿五日。家康。上洛。大坂。十月。中細言に任じ。同月。より。十一月。七日。位を周仁親王に授けり。十二月。廿五日。即位。十二月。秀吉。相国に任ず。

十五 八百。後陽成。諱。周仁。陽光院の太子。二月。大明會典なり。子。母。新照洞院の太子。大臣。藤原の娘。あり。任じ。在。二十五年。三月。秀吉。筑紫。より。九州。兵。大。征。討。す。元禄。六年。まで。百。七。年。よ。と。ふ。

十六 正月。十三日。龍の將軍。受。賜。出家。海。成。子。三宮の宣下。四月。十四日。取。築。系。よ。奉。十八日。還。奉。〇。洛。大。仏。殿。

十七 延暦寺。修。造。す。〇。從。の。城。と。作。る。巳。丑。

十八 四月。秀吉。小田原。と。攻。め。氏。真。降。参。す。〇。信。雄。と。出。羽。に。流。す。〇。高。麗。より。貢。と。さ。す。〇。高。麗。より。貢。と。さ。す。〇。高。麗。より。貢。と。さ。す。

十九 六月。廿八日。大。わ。り。〇。十二月。廿八日。奉。加。三月。廿日。禁。部。西北。乃。方。よ。い。げ。り。

二十 二月。十日。秀。次。乃。奉。〇。三月。秀。吉。壬。辰。四月。日。本。乃。小。西。加。藤。〇。尚。慶。道。と。陷。す。〇。五月。尚。慶。道。と。陷。す。〇。五月。尚。慶。道。と。陷。す。〇。五月。尚。慶。道。と。陷。す。

二十一 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

二十二 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

二十三 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

二十四 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

二十五 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

二十六 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

二十七 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

二十八 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

二十九 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

三十 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

三十一 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

三十二 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

三十三 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

三十四 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

三十五 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

三十六 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

三十七 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

三十八 二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。二月。五月。先。帝。崩。御。壽。七。十。一。泉。癸。巳。

神代紀

卷之九

三

三	八月十八日秀吉薨る東山よ葬す ○同廿二日大伴の供養 ○十月朝鮮のらりと此年暮ときり大伴の西門の畔よりづと耳塚とがづく	戊戌		廿
二	正月まて朝鮮とうつ ○八月廿八日 長昭入道 昌山 薨る 靈陽院と号す ○十二月廿三日 明の兵 日本に勢と蔚山よかこむ	丁酉	八月 日本乃勢 敵原と 冊ひ 楊元 登りて 洗足 して 遁さる 明の兵 王 城とまもる	廿五
長	五月八日 家康 内大臣に任じらる ○天下の大よとあつ ○国七月十二日 大地震 ○諸国よ毛の長と置す	丙申		廿四
四	七月十五日 秀次 高野とて自害す	乙未		廿三
三	秀吉 伏見乃小幡山よ城と作る ○甲午			廿二
免	免どう多加藤清正よ世を留て国よ入る ○八月三日 秀吉 頼むる			

四	四月十八日 秀吉乃福と豊田大助 神ととる	己亥	八月 山南よ山よつと出せ 高と廿天づ	廿七
五	天王寺 造官の供養 ○七月 石田 留 ○九月 関が原 合戦 ○十月 三成 誅せらる	庚子		廿八
六	貞観政変乃板行 成就と	辛丑		廿九
七	十二月四日 東山 大仏殿やくる	壬寅		卅
八	二月十二日 家康 右大臣 征夷大将軍に任じらる ○四月 秀頼 内府に任す	癸卯		卅一
九	七月十七日 家光 じましのよ	甲辰		卅二
十	三月廿一日 秀忠 上洛 ○四月十六日 大 臣 征夷 大将軍に任じらる ○七月廿三日 近衛乃信輔 自こなる ○十二月十五日 南海よ 洪涛たり 八丈ヶ嶋の辺よ 大山よとていづる	乙巳	十一月十四日 熹宗 じまの	卅三
十一	朝鮮の僧 松懸る 来り 和陸とす	丙午		卅四

年代記

長

廿一

よつて倭。数万入とくさく。○江戸の城を作りてかまくらに準ふ  
○十一月鷹司の信房。関白となり

十二 駿府の城と作る。○朝鮮貢とまぐ。丁未 丑五

十三 大織冠の像。張る年と逾ていゆ。戊申 丑六

○十二月廿六日九条の忠宗。関白となり

十四 三月四角の月いで。漏法と春。巳酉 寅七

三つ月四つ星つ比牛。辰 卯八

十五 尾張の城と作る。○陸奥の太守。庚戌 辰九

○琉球と伐し。国主とくらへて。○  
九月廿二日大仏。柱立。秀頼。再興

十六 家康。上洛。○三月廿七日位と政仁親。辛亥 辰九

王よゆづり。○同廿八日家康。秀  
頼。對面。○四月十二日即位

陝西の牛。頭。面。共。よ。元  
人の如く。して。色。赤。く  
毛。なく。服。なき。統。と。い。ひ

七百 後水尾 講八政。仁先帝。才二壬子 甲

の皇子。母ハ中和門院と。関白。晴嗣の。養。り。位  
よ在。し。十八年。○七月廿四日。電。あ。○同廿五日。鷹司の。信尚。関  
白。となり。○元禄六年。まで。八十二年。よ。と。ぶ

十八 癸七 四一

十九 二月五日。大坂の。殿。主。より。科。賤。い。づ。烟。甲寅 四二

の。ミ。○四月十六日。大仏の。鐘。と。かり。○十月廿五日。大地。と。ん。○十一月  
大坂の。城。と。圍。む。十二月廿二日。和。が。く

元 五月七日。大坂の。城。に。つ。ろ。ち。ち。社。民。乙卯 四三

和家。やく。ろ。八日。秀。頼。切。腹。○八月四日。家。康。關。東。より。り。あ

二 三月十七日。家。康。大。政。大。臣。に。任。じ。丙辰 四四

四月十七日。中。他。界。下。野。の。日。光。山。に。葬。り。東。照。大。權。現。と。と。く。ろ

三 五月朔。電。あ。○八月廿六日。先。帝。丁巳 四五

七月六日。凡。々。山。西。ハ



崩御。泉涌寺に遷す。

でりし東の煙あり

四 八月六日六角堂やくる

戊午

四月河水をみるあり

四六

五 九月十四日九条の忠実。また願白と

己未

四月河水をみるあり

四七

かろ。夏より異の雲に雨。牛角のさき。白きあかり。長さ数  
十丈。○禁御。良乃。こよいで。芒。もゆるがごとし

六 二月晦日三月四日上京。やくる。○六月庚申

十一

先宗

諱ハ常洛神

泰

十八日和子。女中とかり。○九月

五

先宗

宗此子なり七

四

十二日妙喜院。惺窩先生。死す

六

先宗

宗此子なり

天

月神宗崩す。つて位  
郎。九月十九日卒。崩す

七 辛酉

十一

先宗

諱ハ由校。先

天

八 四月将軍。昭光よるん

壬戌

六

先宗

宗此子なり

啓

九 七月十三日家光公。上洛。同廿七日

癸亥

三

先宗

宗此子なり

三

○十二月十九日本院。津人。さる  
○十一月廿八日女中。中宮となり。あ  
○八月近衛の信尋。願白となり

寛 十一月廿八日女中。中宮となり。あ

甲子

六月わかれあり

四

永 〇朝鮮のいひきり

乙丑

五月六日大らるん

五

二 二月奥列。山。りりうく

丙寅

五月六日大らるん

六

三 將軍家。津上。八月十八日秀忠公

丁卯

八月廿二日帝崩す

七

四 正月廿一日地ろん

戊辰

十一月廿二日

七

五 秀忠公。家光公。昭光よるん

己未

十一月廿二日

七

賀茂の屋。り。此造宮

庚申

十一月廿二日

七

かり在位十七年。○冬。韃靼。北京とせむ

六 八月廿八日。一条乃。兼。願白。か。巳

辛酉

十一月廿二日

二

〇九月十日清水。焼る。○同廿一日伊勢乃。遷宮。○十一月八日

位とゆづりふ九日中官と東福門院と号す

七百本院 講ハ真子。先帝此皇女。庚午

母ハ東福門院。此ハ秀忠公ハ嬪ガリ位ニ在リ

八年二月廿二日清水。事始。三月諸国。辛未。季自成。乱と作す

二年露あつ。四月天赤七丹。知

九年正月廿四日秀忠公。津他界。増上。壬申

寺ニ葬リ。石徳院と云く。丹波乃祝ガ。焔。法常寺。○尾張大納言。眞。武列上野。先聖殿と云く

十月正月九日智恩院やく。癸酉

十一月七月七日東寺乃塔やく。乙亥

十一月七月七日東寺乃塔やく。乙亥

十二月七月七日東寺乃塔やく。乙亥

十三 四月三日家光公。日光。智願。寺。丙子。四春乃國考と板行す

社領乃津。朱仲と改ら。十一月朝鮮。のたひき

十四 二月勢田の橋折。二本。焼落。丁未

國三月千代。誕生。十月九日。嵯峨乃親。迦堂やく。十一月

月肥前。の嶋原。一。揆。機と云く

十五 二月嶋原と交。幾利支丹。三。戌寅

万七千人と誅す

十六 正月廿日袋中。逆化。錢とわり。巳卯

十七 四月將軍家。日光。天。天下。庚辰。六月十二日。正陽乃額。十三

牛。死す。牛。夜。自。地。落。裂て

順治乃字す。鷲乃。大和塔やく

十八 正月廿八日江戸。八千余家。燒。辛巳。六月十二日。三つ。十四

八月三日家細公。津。びい

十九 春より夏まで天下大騒ぎ

辛 季自成。蜀郡とす。十五

廿 六月朝鮮の使来り。九月廿七日位

癸未 天海遷他。十月三日即位。十六

と紹仁親王を譲り。十月二日天海遷他

●大清一太祖皇帝。濶古

正 百 後光明

乃皇子。母ハ主生院

●大清一太祖皇帝。濶古

その國の基任心の娘之位。在

●大清一太祖皇帝。濶古

し十一年。諸家乃系圖を撰ふ

●大清一太祖皇帝。濶古

元祿六年まで五十年よき

●大清一太祖皇帝。濶古

禁山より去り。終死す。季自成。皇帝と稱し

●大清一太祖皇帝。濶古

永昌二年号す。五月清。南京と陷し。民の髮髻を剃り

●大清一太祖皇帝。濶古

北京乃氏とす。同十五日光宗乃弟。由松。位より

●大清一太祖皇帝。濶古

二 正月廿三日。赤松乃社。やくろ。三月乙酉

●大清一太祖皇帝。濶古

十五日。赤松乃社。やくろ。四月

●大清一太祖皇帝。濶古

廿三日。家継公。正二位大納言。任

●大清一太祖皇帝。濶古

の戒光寺と泉涌寺より川す

●大清一太祖皇帝。濶古

三 四月。継吉公。正三位。十月廿日大暇

●大清一太祖皇帝。濶古

の使来り。加勢と得て清と成人と

●大清一太祖皇帝。濶古

と。十一月。祇園の造管。成就

●大清一太祖皇帝。濶古

かどりく。な

●大清一太祖皇帝。濶古

四 正月九日。道の房。橋政と甘ろ。七月丁亥

●大清一太祖皇帝。濶古

南雲の舟。幾利支舟と名を來り追ふ

●大清一太祖皇帝。濶古

と。十一月十三日。薩守先久。江

●大清一太祖皇帝。濶古

戸々大追物と具行す

●大清一太祖皇帝。濶古

慶 四月廿二日。官根の段。地をく。朋ろ

●大清一太祖皇帝。濶古

安 〇天海僧正。慈眼大師。号と賜ろ

●大清一太祖皇帝。濶古

二 四月十七日家經公。日光よ冬詣○五月己丑 備偽て国姓爺よ和とよ  
十三日川越よ電光の大地とよ○六月廿日江戸の大地とよ

二 四月常陸よ電光とよ○五月七日尾 廣 四月国姓爺。備の福  
張乃免真逝去○六月四日長とよ五 越の城とよむ

四 四月廿日家光公。所世界。時老よ 辛卯  
葬り大猷院とよ○家綱公。内大臣。征勅大権取とよ  
○十月八日近衛乃高嗣公。奥自とよりま

二 二月六日乃道場。本堂とよ  
二 二月十三日松野西の宮とよ○六月廿 癸巳 備。福建よ守護代とよ

二 三月十一日内裡の造。新とよ○五甲午  
三日内裡とよ○八月諸国。洪水○同十一日家經公。右大臣よ往  
○九月廿日琉球人。きとよ○同廿一日二条光平公。奥自とよりま

明 百 後西院 講ハ良仁。後水尾才乙未 二月国姓爺。清とよ  
崩沖。壽廿一十月十五日泉涌寺よ葬り○十月十一日良仁。感祚

二 正月廿三日即位○辰とよ 夜。あきとよ 丙申 六月備と国姓爺とよ  
正月十八日十九日江戸。大やけ○同 丁酉 七月自四つ取とよ怪とよ

三 正月廿三日即位○辰とよ 夜。あきとよ 丙申 六月備と国姓爺とよ  
廿三日林。道春。死す 鳥とよ

二 正月十一日同廿一日江戸とよ○七月 戊戌 福建の梅勅。国姓爺とよ  
治伊達の忠宗。死す○九月明の野 さらけい死す

三 正月十一日同廿一日江戸とよ○七月 戊戌 福建の梅勅。国姓爺とよ  
秦官。教とよ○十月十一日前田利常。逝去○十月廿九日。宮。焼る

二 正月廿三日即位○辰とよ 夜。あきとよ 丙申 六月備と国姓爺とよ  
正月十八日十九日江戸。大やけ○同 丁酉 七月自四つ取とよ怪とよ

三 正月廿三日即位○辰とよ 夜。あきとよ 丙申 六月備と国姓爺とよ  
廿三日林。道春。死す 鳥とよ

二 正月十一日同廿一日江戸とよ○七月 戊戌 福建の梅勅。国姓爺とよ  
治伊達の忠宗。死す○九月明の野 さらけい死す

三 正月十一日同廿一日江戸とよ○七月 戊戌 福建の梅勅。国姓爺とよ  
秦官。教とよ○十月十一日前田利常。逝去○十月廿九日。宮。焼る

二	正月廿五日京やくら東西一町南北巴多田姓年。安海城とや十三 六町。家敷。五百。四月八日鳥丸大 能言。吉田。勅使。六月七日常陸。大わく色あり	三	五月洪水。宇治橋にわら。六月大 坂の城。番。雷火。燔。庫。石垣くはる	寛	正月十五日。裡やくら 太子。位。二月。国。燬。塔。伽。沙。古。うら	二	三月。六日。十日。廿日。赤。血 五月。朔。大地。六月。十 三月。下野。の。稻。荷。河。洪水。十月。大。隅。地。海。陸。より	三	百 仙洞 才。十二。の。皇子。母。新。廣。俊。院。と。左。大臣。基 龍。公。飛。位。在。廿。五年。○。正月。廿。六。日。位。受。四月	二	廿七日。即。位。元。禄。六年。まで。北。一。年。よ。と。あ。げ
---	--	---	---------------------------------------	---	--------------------------------------	---	---	---	---	---	---------------------------------

四	四月八日大佐の像を作り創む。八月伊勢。宮の。遷 本。故。多。折。る。○。九月。十六。日。官。川。の。舟。渡。人。溺。死 ○。同。廿。七日。鷹。司。房。輔。公。移。政。を。り。ま。ふ	三	五月。二。日。大。坂。の。天。守。番。火。を。や。く。る。○。六月。八。幡。乃。近 宮。○。新。社。鑿。乃。作。朱。印。と。改。り。○。洛。陽。北。三。所。の 觀。音。を。定。ら。う。○。紹。布。尺。と。二。又。尺。と。定。む。○。七月 廿。五。日。聖。護。院。の。跡。を。入。○。冬。越。後。地。を	六	四月。不。及。不。施。の。僧。流。る。○。五月。廿。六。日。江。戸。の。形。人。丙。午 の。如。く。な。り。先。物。を。○。東。岩。倉。山。よ。て。兼。師。と。り。は。に	七	二月。十二。日。二月。堂。や。く。る。○。標。外。多。田。院。と。さ。い。う。す。丁。未	八	正月。標。乃。狀。な。り。能。氣。西。よ。ん。の。○。二月。辨。江。戸。焼。ろ。戊。申 ○。三月。十六。日。房。膳。公。劇。自。と。り。ま。ふ。○。四月。六。日。江。戸。や。く。る	七	廿七日。即。位。元。禄。六年。まで。北。一。年。よ。と。あ。げ
---	--	---	---	---	--	---	--	---	---	---	---------------------------------

元禄七年

元禄七年

元禄七年

九	正月廿日、北野乃松原、三条河原とて、百日粥の沖施行。○二月、曾北野の社修理成就。○三月十一日、流星、東へゆ、郷音、雷びきり。○七月十一日、天狗、星、東南へ。○九月廿六日、廿八日、伊勢、兩宮乃遷宮。○十月朔旦、冬至の賀。○同廿一日、藤原の房子、河内入門。	巳酉	八
十	八月廿三日、杉原、大波、真り、船没、溺死する者、多し。	庚戌	九
十一	三月より六月まで、鞍馬の毘沙門、因帳。○七月、琉球人、來り、日光山と拜す。○十月、伊勢の山田、やくろ。○同月、伊丹山の、花うま、路傍の、牡丹、皆開。	辛亥	十
十二	四月十一日、隱元禪師、遷化。○五月八日、門裡、法皇、女院、先帝の、御衣、やくろ、類火、五千、ぐん、あま。	壬子	十一
十三	二月廿六日の夜、黒き、雲、魁、西よ、ひく。○四月	甲寅	十二

三	月十日、洪水、鴨川の水、で、三条の、大橋、おつろ。○六月十一日、電、あつ、大なるもの、奉、北へ。○同十四日、洪水。	乙卯	十四
四	三月、石山の、觀音、因帳。○夏、諸國、洪水。○十二月廿六日の夜、法皇、女院の、御衣、やくろ。	丙辰	十五
五	法皇、女院の、御衣、やくろ、遺、遺、遺。	丁巳	十六
六	二月廿五日、日本願寺の、経藏、やくろ。○五月、當、門の、觀、院、羅、潤、色、す。○六月、十五、東福、門、院、崩、す。○六月、廿六日、泉涌寺の、葬、る。○九月、十四日、八幡の、放生會、と、再、興、す。○十一月、十五日、智恩院の、鐘、樓、堂、やくろ。	戊午	十七
七	二月、賀茂の、兩社、河合の、社、並、貴布、祢の、社。	己未	十八

年次記  
 未  
 未

の造替。新宮。三月妙心寺。浄藏。つ。四月三月より  
因幡某師。厨帳。五月百万边の所。影堂。つ

八

正月廿三日。万靈和尙。迁化。三月十日。四ヶ本寺。並  
禪林寺。之善道。の千年忌。之行。小。四月。日赤  
し。舟。此。始。一。五月五日。林。春。齋。死。す。○五月八日  
家。継。公。沖。他。界。東。叡。山。の。葬。り。嚴。有。院。を。諡。す  
正。一。位。大。政。大。臣。と。贈。ら。る。○七月廿七日。今。官。祭。○八月七  
祇。園。會。○同。十九日。後。水。尾。の。院。崩。潰。○壽。八。十五。廿六  
日。泉。涌。寺。の。葬。奉。ら。る。○同。月。日。光。山。跡。迁。化。○土  
月。白。氣。坤。子。見。る。廣。さ。三。三。尺。長。さ。数。十。丈。根。は。星。わ。り  
五月。繼。吉。公。正。一。位。大。臣。征。夷。大。將。軍。の。任。下。ら。る。右。卒。酉  
大。臣。と。り。の。り。の。り。○淺。草。の。川。岸。を。廣。む。○九月。上  
使。井。伊。の。掃。部。頭。上。洛。○十月。十三日。日。蓮。乃。四

庚申

十九

天  
和

百年忌。○土月廿八日。江戸。大。火。燒。る。○同。月。江戸。の。町。人。は  
宋。三。万。俵。拜。借。○十二月。十三日。内。宮。を。く。る

辛酉

廿

二

二月。一条。乃。の。死。後。公。園。白。と。り。の。り。の。り。○三月。廿五日。皇子。壬戌  
儲。君。の。宣。下。同。日。房子。店。を。く。る。○四月。八幡。の。坊。や。る  
○祇。園。北。野。乃。松。原。を。所。施。行。○琉。球。人。き。く。る  
○疫。病。人。や。る。○六月。廿三日。皇子。法。皇。乃。旧。殿。よ  
移。り。○七月。十三日。智。積。院。の。方。丈。や。る。○八月。朝  
鮮。乃。使。來。る。九月。国。よ。く。る。○十二月。二日。皇子。教。王  
乃。宣。下。同。七日。皇子。乃。御。母。大。納。言。典。侍。准。在。を  
が。り。の。り。○同。廿八日。江戸。を。く。る

壬戌

廿一

三

正月。江戸。大。雨。○二月。九日。皇子。太子。よ。立。り。の。り。○同。日  
十四日。房子。中。宮。を。が。り。の。り。の。り。○四月。五日。日。光。山。地。之  
○六月。越。後。乃。乘。取。谷。を。怪。き。獸。と。討。殺。す。大

癸亥

廿二

并代記

卷之九

廿九

三四尺八寸。鼻より取まで二尺八寸。口の廣二寸六寸。毛の色赤く黒く一色して拂々として。○同月徳松君逝去。○土月三井寺の智護の八百年忌あり。○土月吾江戸の梵

三

甲子

廿三

正月三日延暦寺の元三大師の七百年忌と行ふ。○同月十九日黄檗の木庵寂す。○二月廿七日四條室町より火いで教百軒やぐる。○三月廿日東寺より弘法乃八百五十年忌と行ふ。○四月一条の華堂より火いで寺四ヶ所。東宮の所取。諸公家の館やぐる。○十月廿九日勅して旧暦とあらしめ貞享暦と行ふ。

二

乙丑

廿四

二月廿二日の夜流星。巽より乾よとひ暫くして雷の如くする声あり。○同夜後西院崩す。三月七日泉涌寺の葬奉る。○五月廿二日逢春門院薨る。○二月廿三日京大雨。大凡雷所々における。○四月朔西貢

三

丙寅

廿五

二条の自焼り火いで教百軒やぐる。○六月三日の夜上河原の社破る。○同廿七日豊後の佐伯比民の僕。海の濱より先ありより索て一尺七寸の仏とゆ。○同背は明万曆十酉廿五年季夏吉日庭塔本里を政。王叔果。同妻陳氏項師と銘あり。○九月十七日より廿三日まで後光明院。光三年忌は清涼殿。○是法花八講と修せらる。○十月十八日上河原の辻宮

四

丁卯

廿六

正月廿三日太子。沖え服。○二月廿日流星とぶ。○三月十五日田中守較寺より三万石の廻向す。○同廿一日位と太子。朝仁親王の譲あり。四月廿八日即位。○五月朔。保科肥後守。冬門。○六月五日より石山乃観音。宛帳。○七月十八日七の刻。京家ことよ水と汲。○同廿五日聖護院。二品。道社法親王。定年入

年表

卷之九

年



○九月九日大凡○十一月十六日大嘗會○同廿七日  
藤大和守入洛一取司とる

元禄

百  
今上皇帝

講ハ 先帝才五の皇子母ハ成良  
松木内大臣宗條ハ此娘ナリ

廿七

聖躬室祚萬々歳○三月十五日崇徳作祐善寺二  
万月の廻向す○四月二日南都東大寺新しめ○同  
十五日女乃官薨る○八月廿三日時宗乃寺々一編  
上人の四百年忌と行ハ○大坂堂嶋在家ころ

二

二月朔ハ大坂天寺太子乃所影用帳○四月八日己巳

廿八

黒谷乃経藏供養○八月六日八条どの薨る○九月  
十日十三日伊勢の兩官迁官○十月二日越後乃五知  
の如來雷火とてやろ

三

正月十三日近衛乃基祖公園白とる○二月十度千

廿九

三月より大秦乃聖徳太子用帳○三月三日の夜光  
物巽より乾より○同十五日自川橋金剛寺二二万  
月の廻向す○同十六日七日加賀の金沢乃町屋る○  
五月尾張紀列の大守大納言と轉す○八月十五日  
洪水○十月廿八日の夜良の山の根より黒雲坤乃山  
の根より引○十一月朔上の醍醐やろ○十二月九日新  
町下立賣より火いで千軒余やろ○同十八日聖  
護院跡薨る○同廿七日内大臣大和守逝去○  
同月江戸昌平坂乃孔子堂大成殿とやうしめ

四

三月三日松平因幡守上洛一取司とる○同十三日長  
講堂その後白河院乃五百年忌と修せらる○同廿  
日仏光寺阿弥陀堂の修理成就○四月六日富宗  
乃内非田沓と禁す○五月十八日より石山乃用帳○

卅

平代記

卷二

廿一

同月相乃町の民家。一町と三条の西より移す。○六月  
 十七日肥後の阿蘇山。石つくと雨に如し。○八月四日  
 蘇山の池水。血となり魚死す。○八月十二日松平因  
 幡守。逝去。○十月十三日妙顯寺より日像の三百五  
 十年忌と行ふ。○同十四日小笠原佐渡守。上洛し  
 取司となり。○十二月二日江戸。本町甲より火いで梵  
 ○真如堂より

五

元日。日蝕。○二月廿三日五条。百軒余やくる。○三月八日  
 より南都大仏。万僧供養と行ふ。○同十二日仁和寺  
 法親王。灌頂と修せらる。○五月八日江戸東殿山にて  
 家經公。十三年忌。○八月十九日般舟院にて法皇。十  
 三年忌と修せらる。○九月七日野村の祭と舟具す。○十  
 二月朔。公家乃館より火いで真如堂。ホヤくる。○十  
 一月十日西岩倉。金藏寺の舟具。くやう。○十二月五日

壬申

九

善峯寺。供養。○十二月十二日智積院。一覺鑿乃五  
 百五十年忌と行ふ。勅して覺鑿。真教大師此号とあり

六

正月廿七日大凡。淀川舟。換す。○二月十六日より  
 月輪。いらう。○三月十五日紙屋川。地秀院。二万此  
 廻向す。○四月九日朝觀の行幸。

癸酉

九

元祿癸酉仲夏吉辰

石田 九 兵衛

文臺屋次郎兵衛

敦賀屋三右衛門

梓 鏡

毛  
八

